

令和3年度社会福祉法人矢板市社会福祉協議会事業報告

1. 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 理事会

開催日時・場 所	議 事
令和3年5月27日 午後3時～ きずな館2階会議室	議案第1号 会長の専決処分事項承認について（専決第1号） 議案第2号 会長の専決処分事項承認について（専決第2号） 議案第3号 令和2年度事業報告について 議案第4号 令和2年度収支決算について 議案第5号 評議員の解任について 議案第6号 評議員会の書面審議開催及び提出議案について
令和3年6月21日 午前10時～ きずな館2階会議室	議案第1号 会長、副会長及び常務理事の選任について 議案第2号 評議員選任・解任委員の解任及び選任について 議案第3号 評議員選任候補者の推薦について
令和3年9月3日 （書面審議）	議案第1号 令和3年度補正予算第2号（案）について 議案第2号 評議員会の書面審議開催及び提出議案について
令和4年3月15日 （書面審議）	議案第1号 令和3年度補正予算第3号（案）について 議案第2号 令和4年度事業計画（案）について 議案第3号 令和4年度収支予算（案）について 議案第4号 評議員会の書面審議開催及び提出議案について

(2) 評議員会

開催日時・場 所	議 事
令和3年6月21日 （書面審議）	議案第1号 会長の専決処分事項承認について（専決第1号） 議案第2号 会長の専決処分事項承認について（専決第2号） 議案第3号 令和2年度事業報告について 議案第4号 令和2年度収支決算について 議案第5号 役員の選任について
令和3年9月22日 （書面審議）	議案第1号 令和3年度補正予算第2号（案）について
令和4年3月25日 （書面審議）	議案第1号 令和3年度補正予算第3号（案）について 議案第2号 令和4年度事業計画（案）について 議案第3号 令和4年度収支予算（案）について

(3) 監 査

開催日時・場 所	監 査 内 容
令和3年5月19日 午後1時30分～ きずな館2階会議室	令和2年度事業執行状況について 令和2年度収支決算について

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日時・場 所	監 査 内 容
令和3年5月27日 (書面審議)	議案第1号 評議員の解任について
令和3年6月21日 午後1時30分～ きずな館2階会議室	議案第1号 評議員の選任について

2. 低所得者福祉対策

(1) 小口資金「社会福祉金庫」の貸付 (単位：円)

件 数	金 額
0件	0

(2) 善意銀行援護資金の貸付 (単位：円)

件 数	金 額
45件	880,000

(3) 高額療養費の貸付 (単位：円)

件 数	金 額
9件	1,197,000

(4) 法外援護費の支給

件 数	内 訳
31件	上り25件 下り6件

(5) 生活困窮者自立支援事業 (決算額 13,598,776 円)

生活困窮者の自立に向け、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行った。

相談受付総件数 446件 プラン作成件数 188件

(うち就労プラン作成件数 22件 ⇒ 一般就労者数 4件 増収者数 1件)

※ 緊急小口資金特例貸付申請受付 100件 19,430,000円

総合支援資金特例貸付申請受付 173件 90,250,000円

(6) キッチンやいた事業

生活困窮者の支援のために、農家等米や野菜の生産者が寄付登録し生活困窮者の支援のために必要に応じて登録者から提供を受け食糧を配付した。

(提供件数には、善意銀行預託品の払出を含む)

登録者数 16名

提供件数 114件(米、野菜、もち、調味料等食料、衣料品等)

3. 心身障がい者福祉対策

(1) 声の広報

ボランティアグループ「さざ波」(11名)の協力を得て、広報やいた、社協だより、市議会だよりをCDに収録し、視覚障がい者や施設入所者等(8名)に配付した。

(2) 矢板市手話奉仕員養成研修事業 (決算額 650,745円)

手話の基礎知識を習得し、健聴者と聴覚障がい者の意思の疎通と相互の理解を深め、聴覚障がい者の福祉増進を図り、さらに高度な手話知識を習得するで、意思疎通者の養成に繋がることを目的に開催した。9名の受講者が修了することができた。

(3) 矢板市障がい者福祉ボランティア育成講座 (決算額 0円)

障がい者福祉に関する知識や市の各種事業の現状について学ぶ機会を提供し、福祉やボランティア活動への理解を深めることで、各種障がい者福祉関連事業等で活動できるボランティアを育成することを目的に開催を予定したが、コロナ禍のため中止した。

4. 高齢者福祉対策

(1) 生活支援体制整備事業 (決算額 11,867,322・円)

①生活支援体制づくり

市の委託を受け、地域における生活支援や介護予防サービスの充実、強化を図るため、第2層協議体の設置・運営と地域の情報の把握、担い手の養成、マッチングなどを行い、高齢になっても安心して暮らし続けられるよう、支え合い体制づくりを行った。(生活支援コーディネーター3名配置)

②地区社会福祉連絡会の活動支援

設立されている4つの地区社会福祉連絡会同士の連携強化、先進地の取組みを知る機会としてフォローアップ研修会(1回)を開催した。

③介護サポーター入門講座(介護に関する入門的研修)の開催

地域における多様な介護人材を確保するため、基本的な知識・技術を学ぶ講座を開催(8日間 24時間)し、10名が受講した。

④サロンなどの居場所活動の支援

サロン活動を支援するために、出前講座(10回)を行った。また、新たな居場所開設を目指して、住民への説明や情報提供を実施した。

⑤縁ジョイ講座

縁ジョイ講座の開催 6回(77名参加)

縁ジョイ講座のボランティア連絡会(1回)を開催した。

⑥支え合いマップづくりや見守り活動への取組み

支え合いマップの作成(1行政区)、訪問型見守り活動(3行政区)、見守り活動記録の作成(1行政区)、ボランティア活動者などへ地域での見守りへの協力を依頼

(2) やいた元気シニア地域活動応援ポイント事業 (決算額 3,402,035円)

①市の委託を受け、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援するため、地域ボランティア活動(1時間以上の活動につき2ポイント)、健康づくり活動(1時間以上の活動につき1ポイント)に取り組んだ実績に応じてポイントを付与するボランティアポイント事業を実施した。

・活動拠点 73ヶ所(介護保険施設、シニアクラブ、きらきらサロン等)

・活動登録者 1,182名

・交換ポイント合計 28,448ポイント(1ポイント100円)

②地域ボランティア活動者向け講座を実施

6回 38名受講

③活動拠点への説明会を開催

3回 58名出席(42団体)

(3) 老人給食サービス (決算額 1,334,532円)

ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等を対象に、給食ボランティアの協力によりお弁当を届け、安否確認を行った。

① 受給対象者 55名

② 配食回数 週2回(火曜・木曜)延べ98回 年間延食数2,401食

③ 調理ボランティア 77名

④ 配送ボランティア 49名

・ボランティアグループ「みんな輪になろう会」の絵手紙配付

・食材提供ボランティアから提供を受け、給食に活用

(4) ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業 (決算額 306,670円)

市内に居住する80歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、乳酸菌飲料を配布し、安否確認を行った。

実利用者 48名(令和3年3月31日現在) 延べ訪問回数 4,381回

(5) 泉げんきセンター「はつらつ館」の管理運営 (決算額 3,599,376円)

① 開館日 月曜日～土曜日(休館 日曜日、祝祭日、年末年始)

② 開館時間 午前9時～午後4時まで

- ③ 指導員 2名
- ④ 主な行事 百歳健康教室、健康相談、世代間交流事業（グラウンドゴルフ、輪投げ他）、
ラージボール卓球、絵手紙、折り紙など
- ⑤ 来館者数 1, 619名（内利用者1, 341名、見学者等278名）

(6) リフト付きワゴン車貸出し事業（決算額 376, 897円）

身体が不自由な方や高齢者等の療育訓練、入退院、各種研修会への参加、レクリエーション等への参加など、社会参加の拡大を支援するため、車椅子やストレッチャーのまま乗車できるリフト付きワゴン車の貸出し事業を行った。

車種	件数	内訳
軽ワゴン	72件	病院利用 62 その他 10
バン	10件	病院利用 8 その他 2
計	82件	

(7) 高齢者福祉機器の貸出し 車椅子の無料貸出し 69件

(8) 介護用品支給事業（決算額 1, 365, 296円）

在宅で要介護4、5の寝たきり高齢者、重度心身障がい児者等に、紙おむつ等支給券（2, 000円/月）を給付し、在宅福祉の向上に努めた。 受給者 100名

5. 児童、母子父子福祉対策

(1) 矢板市ファミリーサポートセンター事業（決算額 2, 714, 663円）

ファミリーサポートセンターの運営について、市委託を受け地域での子育て支援を行った。

新規登録会員数 11名 現登録者数 309名

依頼件数 32件 内訳：一時預かり 5件 送迎 27件

(2) 児童館（子ども未来館）の管理運営（決算額 16, 632, 900円）

次世代の矢板市を担う子どもたちが、健康で創造力のある心豊かな人間に成長できるよう各種行事や健全な遊びの場を提供することを目的に開館。指定管理者として管理運営し、児童の育成に努めた。

- ・ 開館時間 午前9時～午後6時まで 毎週月曜日・毎月第3日曜日休館

- ・ 指導員 常勤3名 非常勤4名

- ・ 主な行事 親子制作（手形で花を作る）、作って遊ぼう（ぶんぶんゴマ作り）、測定、オセロ大会、本の読み聞かせ

- ・ 年間利用者数 6, 036 名

(3) 放課後児童対策「矢板市学童保育館」の管理運営 (決算額 39,550,761円)
 保護者等が労働等により放課後家庭にいない児童を対象に、必要な生活習慣、遊び等を学習する場を提供し、健全育成に努めた。

- | | | | |
|--------|------------|-----|-------------------------------|
| ① 開設場所 | 矢板小第一学童保育館 | 58名 | } (令和3年4月1日現在)
保育児童数 計258名 |
| | 矢板小第二学童保育館 | 21名 | |
| | 東小学童保育館 | 67名 | |
| | 安沢小学童保育館 | 39名 | |
| | 川崎小学童保育館 | 33名 | |
| | 泉小学童保育館 | 40名 | |
- ② 保育時間 通常時 月曜日から金曜日 下校時から午後7時まで
 土曜日、長期休み(春、夏、秋、冬休み)
 上記は午前7時30分から午後7時まで
- ③ 放課後児童支援員研修会
- ④ 交通安全教室の開催(夏休み)
- ⑤ 主任指導員定例会議の開催(年8回)

(4) 子育て地域コミュニティ等育成支援事業 (決算額 3,000,000円)
 地域コミュニティと連携し、子育てサービスの充実・強化を図ることを目的に、矢板市子育て総合支援拠点を設置し、子育て世代の交流の場の提供等の事業を行った。

夏のイベント 花植え&水遊び	8月4日	参加者23名
年末子育て応援し隊	12月11日	参加者29名
クリスマス会	12月12日	参加者22名
矢板市身体障害者福祉会との交流会	3月16日	参加者8名

6. 日常生活自立支援事業 (決算額 3,803,284円)

高齢者や障がいのある方の権利と財産を守り、地域で安心して自立した生活が送れるよう、暮らしや福祉などに関する相談、支援を行った。

相談件数	513件		
契約件数	8件(実利用件数 34件)	解約件数	13件

7. 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進費の交付 (決算額 487,860円)

児童、生徒の福祉に対する理解と関心を高めるために、市立小中学校11校及び市内高等学校1校を対象に福祉教育推進費を交付した。

- ・地域貢献(施設利用者への贈物の作成、花苗の配付、施設へのプランター寄贈)
- ・福祉体験学習(高齢者疑似体験、車いす体験など)
- ・福祉に関する知識の習得(福祉に関する講座や障がい者スポーツ体験)

(2) ボランティアサマースクールの開催

次世代を担う高校生を対象として、ボランティア活動への参加や認知症サポーター養成講座の受講等の内容を取り入れたサマースクールを開催した。(参加者30名)

(3) 福祉のこころ推進校の認定

小中高等学校と連携した福祉教育の推進を目的に、地域福祉活動に取り組んでいる学校を福祉のこころ推進校に認定している。認定校等を対象に、福祉出前講座を実施した。

認定校 泉中学校、県立矢板高等学校

内 容 福祉ロゴマーク講座、ボッチャ体験

(4) 福祉イラストの募集

小中高校生を対象に、福祉啓発を目的とした福祉イラストを募集。入賞作品のうち、会長賞、各部門最優秀賞をポケットティッシュのイラストカードに印刷し、福祉啓発活動品として配付した。(応募総数86作品)

8. ボランティア活動の推進 (決算額 77,360円)

ボランティア活動を支援するため、ボランティア保険に加入した。

保険内容 賠償責任保険 1事故につき2億円

傷害保険 死亡 1,000万円 入院 1日4,750円

通院 1日2,500円

加入者数 173名

9. 不要入れ歯回収事業 (収入額 0円) ※コロナ禍のため、事業者回収無し

使用金属を換金することにより資源の再利用とその益金を有効活用することを目的とし、不要入れ歯を回収している。(換金された金額のそれぞれ40%がユニセフと社会福祉協議会に寄付され、残り20%が手数料としてNPO法人日本入れ歯リサイクル協会へ)。

設置場所 矢板市きずな館、矢板市役所(社会福祉課、くらし安全環境課) 矢板公民館、片岡公民館、泉公民館、泉はつらつ館 以上7箇所

10. 結婚支援(やいた未来クラブ)

結婚したいけれど出会いの機会がない、出会いがあれば結婚したいという方たちに出会いの場を提供するため、定例会開催や結婚相談活動を行っているがコロナ禍のため活動を自粛した。

11. 法人後見事業の推進 (決算額 5,856,458円)

判断能力が不十分な認知症高齢者や知的・精神障がい者等が不利益を被らないように、当協議会が後見人となり支援活動を行った。

受任件数 3件

法人後見事業運営委員会 1回(書面開催)

12. きずな館の管理運営 (決算額 2,742,623円)

きずな館の管理、ボランティア団体等への会議室使用受付等の業務を行った。

13. 広報活動 (決算額 784,000円)

社協についての理解を深めるために「社協だより」を発行した。

年3回(7月、12月、3月)発行 全戸配布

広報委員会の開催(年2回) ※コロナ禍のため12月、3月は事務局編集

14. 心配ごと相談所の開設 (決算額 128,656円)

・開設日時 毎週火曜日(第2火曜日を除く) 午前9時~12時(延べ24回)

・相談員 17名(民生委員・児童委員) ※感染症対策のため事務局対応あり

・取扱件数 10件 内訳:家族1件 住宅2件 財産、医療等その他7件(重複あり)

15. 弁護士による無料法律相談 (決算額 660,000円)

・開催日時 毎月第3木曜日 午前9時~12時(延べ12回)

・取扱件数 60件

内訳:財産/相続28件 家族問題10件 対人関係3件 その他19件

16. 募金活動

(1) 共同募金

(単位:円)

区 別	募 金 額	備 考
戸 別 募 金	3,573,688	1世帯当り450円
職 域 募 金	59,930	41件
法 人 募 金	295,620	90件
個 人 募 金	22,755	7件
バ ッ チ 募 金	42,000	1個500円以上
そ の 他 の 募 金	46,404	募金箱等
計	4,040,397	

(2) 歳末たすけあい募金

収 入

(単位:円)

項 目	募 金 額	備 考
戸 別 募 金	1,872,180	1世帯当り250円
預 金 利 息	6	預金利息
県共同募金配分金	3,357,917	令和2年度繰越金
計	5,230,103	

支 出

(単位：円)

項 目	該 当 人 員	金 額
1 歳末たすけあい見舞金	40世帯60名	642,332
2 福祉のつどい開催事業		10,016
3 ボランティア活動団体への助成	13団体	364,760
4 県共同募金会送金額	令和4年度に使用	4,212,995
計		5,230,103

※歳末たすけあい見舞金については、1世帯あたり15,000円を基本とし、1人増えるごとに2,000円増額

17. 自主財源の確保

◎矢板市地域福祉振興基金（高原基金） 昭和61年度～

◇ 令和2年度末基金総額	321,167,203円
◇ 令和3年度実績額	6,778,945円
内 訳 1. 民間寄付金 11件	1,090,945円
2. 運用益	5,688,000円

寄付受入状況

(単位：円)

月	件数	金額	月	件数	金額
4月	0	0	10月	0	0
5月	2	626,287	11月	3	50,000
6月	0	0	12月	1	38,158
7月	0	0	1月	0	0
8月	0	0	2月	0	0
9月	2	41,000	3月	3	335,500
			計	11	1,090,945

○矢板市地域福祉振興基金（高原基金）購入債権一覧（運用状況）

SMB C日興証券

証券名	利付国債第121回 20年 1.9%	利付国債第131回 20年 1.7%	※既発債の場合、利息 支払い期日までの経過 利息は、債権を買った もの（買手）が売手に 支払い、買手は利息支 払い期日に半年分の利 息を受領する。
証券明細等			
買入日・単価	H22.11.19・100.000	H23.11.22・100.000	
買入額	277,000,000円	25,000,000円	
額面	277,000,000円	25,000,000円	
償還満期日	2030.9.20	2031.9.20	
年間利子	5,263,000円	425,000円	

債権額面総額：277,000千円(国債)+25,000千円(国債)=302,000千円

18. 各種講座等の開催

(1) 第16回矢板市福祉のつどい

- ① 日 時 令和4年1月31日(月) ※コロナ禍により中止
- ② 表彰者 個人 17名
- ③ 備 考 コロナ禍により表彰式が中止となったため、個別に表彰状を配付した。

(2) 第44回福祉まつり (決算額 0円) ⇒コロナ禍のため中止

19. 善意銀行

市民からの善意の金品等を預かり、生活困窮者や預託者の希望先に払い出しを行った。
受払状況

	金 銭 預 託 (円)	物品預託 (件数)
前年度繰越	1,906,972	
本年度預託	寄附12件 228,394	75件
貸付償還金	953,000	
預金利子	20	
雑入	17,000	
計	3,105,386	
通信運搬費	4,200	
払い出し	援護資金貸付45件 880,000	75件
計	884,200	
差引残高	2,221,186	

※物品預託

食料品：米、乾麺、野菜、調味料、食用油、缶詰、みかん、豆もち、お茶、パックご飯ほか
衣料品：紳士婦人肌着、タオル、靴下、石鹸、大人用紙おむつ、生理用品、ベビー布団ほか
その他：シルバーカー、ポータブルトイレ、滑り台、ブックラック、ベビーベットほか